

スーパーマン (1941)

SUPERMAN

メディア 映画 アニメ

ジャンル SF アドベンチャー ヒーロー

製作国 アメリカ

初公開日 不明

【解説】

ベティ・ブープやポパイ等の人気キャラクターを創出し、1930年代においてディズニーと唯一対抗し得たアニメ作家と評されているフライシャー兄弟が、「バット君町に行く」の興業的失敗による財政破綻を原因にスタジオを離れる前に作られた、事実上最後のフライシャー作品と言えるシリーズ。

世界で初めて動く映像として描かれたスーパーマンであり、その事だけでも十分歴史的価値はある所なのだが、高層ビルの群を軽々と飛び越え、高速で飛行するパレット・カーをパンチ一つで弾き返し、マッド・サイエンティストの放つ巨大光線を体全体で受け止め、跳ね返してしまうなど、その活躍ぶりは正に“スーパーマン”の呼び名にふさわしい物であり、最もオリジナルに近い形の作品として評価の高いシリーズである。ロイスのアメリカ娘らしい、いささか破天荒な行動も見所の一つ。このシリーズに魅せられた人は数多く、かの宮崎駿氏が、「ルパン」など、作品中に度々スーパーマンのパロディを用いている事はファンの間ではつとに有名な話。ビデオは「スーパーマンⅠ／激闘編」、「スーパーマンⅡ／ミステリー編」の2巻。

【クレジット】

監督	デイヴ・フライシャー	Dave Fleischer
製作	マックス・フライシャー	Max Fleischer
キャラクター創造	ジョー・シャスター	Joe Shuster
	ジェリー・シーゲル	Jerry Siegel
声の出演	バド・コリア	Bud Collyer
	ジョアン・アレキサンダー	Joan Alexander